



NS ユナイテッド海運株式会社

証券コード 9110

2024年度(中間期) 事業の報告書

(2024年4月1日▶2024年9月30日)

代表取締役社長

山中一馬



株主の皆さまへ

To Our Shareholders

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

事業環境に関して

当中間期(中間連結会計期間)における世界経済は、中国経済には不透明感が見られた一方で、米国経済を中心に堅調に推移しました。外航海運市況のうちドライバルク市況につきましては、中国経済には不動産不況を背景に不透明感が見られたものの、同国の鉄鋼生産は大きく落ち込まず鉄鋼原料の輸送需要も維持されたことや、新造船供給圧力が限定的であったこと等により、市況は概ね底堅く推移しました。VLGC(大型LPG運搬船)につきましては、LPG輸送需要は堅調に推移したものの、パナマ運河の通航制限の緩和等を受けて船腹需給が緩み、市況は下落基調となりました。内航海運につきましては、建設業等の輸送需要減少を受けて鋼材や鉄鋼原料の輸送量が減少した一方、電力関連貨物は夏季の電力需要増の影響で輸送量は前年同期を上回りました。燃料油価格につきましては、当中間期の平均消費価格(全油種)は、トン当たり約587ドルと、前年同期比では約46ドル上昇となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で153.50円と、前年同期比では14円50銭の円安となりました。

当中間期の業績・配当に関して

このような環境下、期中に進行した円安が収益を大きく押し上げたものの、入渠費や修繕費といった外貨建て費用負担の増加もあり、当中間期の連結業績は、売上高1,287億23百万円、営業利益117億6百万円、経常利益101億5百万円、親会社株主に帰属する中間純利益91億53百万円となり、前年同期比で増収減益となりました。

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、今年度も中間配当の実施を決定し、1株当たり115円とさせていただきますこととしました。

通期の見通しに関して

2025年3月期の連結業績は、売上高2,340億円、営業利益

211億円、経常利益193億円、親会社株主に帰属する当期純利益180億円を予想しております。また、期末配当につきましては1株当たり115円、中間配当と合わせ年間配当金を1株当たり230円と見込んでおります。なお第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率は145.00円、燃料油価格につきましては平均消費価格(全油種)をトン当たり563ドルとしております。

中期経営計画に関して

本年3月29日に2024年度~2027年度を対象期間とする中期経営計画『FORWARD 2030 II Challenge for innovation and further growth with U』を策定しました。『FORWARD 2030 II』では、2030年に向けたビジョンを「クリーンでサステナブルな海上輸送における必要不可欠な存在を目指し、ステークホルダーと協働して変革を続け、企業価値の更なる向上を図ります」と定義しました。事業戦略として「新規成長事業領域の拡大」「既存中核事業領域の深化」を掲げ、脱炭素社会の実現に向けてステークホルダーと協働すべく、新燃料船や次世代燃料の確保に向けた投資を予定しております。また、財務目標については、2027年度の連結営業利益200億円、ROE10%、Net DER1.0倍以下といたしました。2030年にかけての投資計画の実行に向け、財務規律を維持しつつ着実な収益の積み上げを目指します。

『FORWARD 2030 II』における脱炭素化に向けた取り組みの一環として、当社は2024年5月、日本シップヤード株式会社、今治造船株式会社、ジャパン マリンユナイテッド株式会社との4社間において、メタノール二元燃料大型ばら積み貨物船について、複数隻の建造に関する覚書を締結しました。本船型は、従来の重油燃料に加え、環境負荷の低い船用燃料であるメタノールを用いて航行可能な二元燃料エンジンを搭載しています。

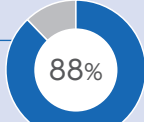
サステナビリティに向けた取り組みを推進しつつ、中期経営計画の達成を通じた企業価値の向上に向けて、グループ体となって尽力してまいります。

事業別の概況

Operating Results

外航海運事業

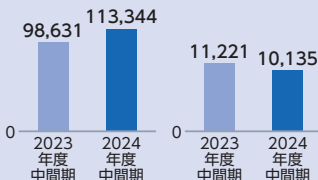
売上高構成比



売上高

1,133億44百万円
(前年同期比 14.9%増)

●売上高 (百万円) ●営業利益 (百万円)

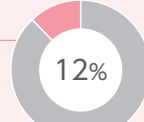


営業利益

101億35百万円
(前年同期比 9.7%減)

内航海運事業

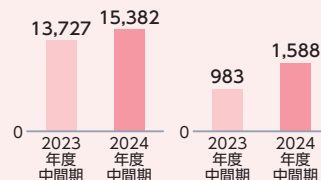
売上高構成比



売上高

153億82百万円
(前年同期比 12.1%増)

●売上高 (百万円) ●営業利益 (百万円)



営業利益

15億88百万円
(前年同期比 61.5%増)

中間連結損益計算書 (要旨) (中間連結会計期間)

科目	(単位: 百万円)	
	前中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間期 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
売上高	112,354	128,723
売上原価	96,430	113,219
売上総利益	15,924	15,504
一般管理費	3,730	3,798
営業利益	12,194	11,706
営業外収益	2,325	228
営業外費用	692	1,829
経常利益	13,827	10,105
特別利益	71	827
税金等調整前中間純利益	13,898	10,932
法人税等	2,909	1,779
中間純利益	10,989	9,153
親会社株主に帰属する中間純利益	10,989	9,153

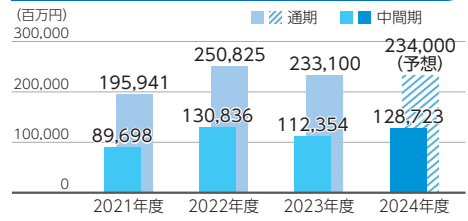
中間連結貸借対照表 (要旨)

科目	(単位: 百万円)	
	前期末 2024年3月31日現在	当中間期末 2024年9月30日現在
資産の部		
流動資産	106,930	104,085
固定資産	179,414	177,654
資産合計	286,344	281,739
負債の部		
流動負債	52,430	47,100
固定負債	84,330	79,973
負債合計	136,759	127,074
純資産の部		
株主資本	147,633	153,251
その他の 包括利益累計額	1,951	1,414
純資産合計	149,584	154,665
負債純資産合計	286,344	281,739

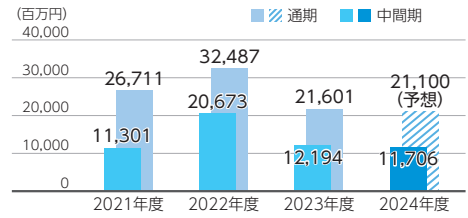
中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

科目	(単位: 百万円)	
	前中間期 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間期 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	18,172	19,561
投資活動による キャッシュ・フロー	△8,175	△8,149
財務活動による キャッシュ・フロー	△6,535	△9,710
現金及び現金同等物 に係る換算差額	754	△350
現金及び現金 同等物の増減額	4,216	1,352
現金及び現金 同等物の期首残高	40,264	47,069
現金及び現金同等物の 中間期末残高	44,480	48,421

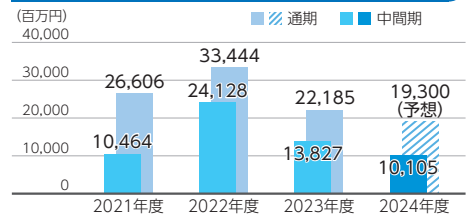
売上高



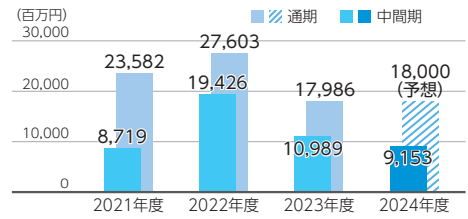
営業利益



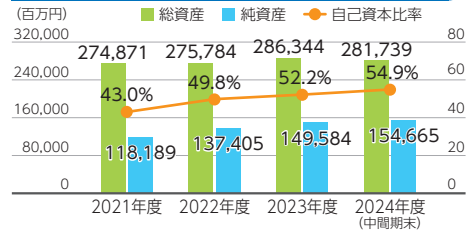
経常利益



親会社株主に帰属する中間 (当期) 純利益



総資産・純資産・自己資本比率



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人及び 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
郵送物送付先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京海上保安株式会社 証券代行部
電話照会先	フリーダイヤル0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
株主総会資料の電子提供 制度 (書面交付請求) についてのお問合せ先	フリーダイヤル0120-524-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
公告の方法	電子公告 https://www.nsuship.co.jp/ ただし、電子公告を行うことができない 事故その他のやむを得ない事由が発生した 場合は、日本経済新聞に掲載します。

ホームページ

<https://www.nsuship.co.jp/>

ホームページではIR情報をはじめとしたさまざまな
情報をタイムリーに発信しております。



統合報告書 NS UNITED REPORT

https://www.nsuship.co.jp/ja/ir/library/nsu_reports.html

本報告書は、NSユニテッド海運グループ
が海上運送事業を遂行するに当たり、企業
としての利益を求めめるだけでなく、ESG
への取り組みをはじめ、社会的責任をどの
ように果たしているかについて、すべての
ステークホルダーの皆さまを対象に、財務・
非財務情報の両面から紹介しております。

